

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

A.健康と福祉の強化

- (1)-A1 高齢者が安心して暮らせる CCRC構想を推進。
- (1)-A2 エネルギーフリーゾーンを活用し、持続可能で災害に強い生活基盤を整備。

B.自然共生の暮らしの実現

- (1)-B1 新美南吉の里山をモデルにした自然共生型地域づくり。
- (1)-B2 バイオマス発電やゼロエミッション技術を活用した生活環境整備。

C.文化を基盤にした暮らしの充実

- (1)-C1 地域の伝統文化を日常生活に取り入れ、観光客と住民が文化を共有できる地域社会を構築。

(2) 東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散

A.文化産業を基盤にした人・企業の誘致

- (2)-A1 半田運河や赤レンガ建物を拠点に、新たな文化産業の創出。
- (2)-A2 発酵に関連した学びや研究機関の集積。
- (2)-A3 半田農業高校を中心に、食品加工・発酵産業に特化した人材育成。

B.教育と産業の融合

- (2)-B1 地元人材を活かす人材バンクを設立し、企業とマッチングを支援。

(3) 付加価値創出型の新しい地方経済の創生

A.文化産業の創出

- (3)-A1 半田を「日本一の発酵のまち」としてブランディング。
- (3)-A2 赤レンガ建物を活用した文化拠点を整備し、ビール開発や発酵食品の販売で観光と文化産業を融合。
- (3)-A3 愛知発酵食文化研究所の設立による発酵文化の普及と商品開発、インバウンド誘致。
- (3)-A4 歴史的建造物を文化産業の核として、観光客を引き付ける都市空間を整備。

B.地域資源を活用した産業振興

- (3)-B1 道の駅での観光農業・オーガニック農業を中心とした新産業の創出。
- (3)-B2 環境資源(バイオマス、畜産発酵飼料)を経済資源化し、地域内経済を活性化。

(4) デジタル・新技術の徹底活用

A.文化産業のデジタル化

- (4)-A1 発酵食文化のデジタルアーカイブを構築し、国内外への発信を強化。
- (4)-A2 デジタル技術を活用した観光体験(AR・VRでの歴史体験ツアー)を提供。

B.スマートシティ化の推進

- (4)-B1 知多半田駅から半田運河までのエリアをデジタル都市設計でリノベーション。
- (4)-B2 次世代モビリティの導入で地域内交通を効率化。

C.教育・研究分野での活用

- (4)-C1 AIやIoTを活用した産業プロセスの効率化。

(5) 「産官学金労言」のステークホルダーの連携など、国民的な機運の向上

A.半田商工会議所を中心とした連携

B.文化産業を中心とした連携

- (5)-B1 半田の地域文化を活かし、産官学金労言が協働で新たな文化産業を推進。

- (5)-B2 赤レンガ建物や雁宿ホールを拠点とした、官民連携プロジェクトを展開。

C.市民参加型文化プロジェクト

- (5)-C1 地元の祭りやイベントを通じた市民参加型プロジェクトの展開。
- (5)-C2 市民が主体的に関わるための仕組み作り。

